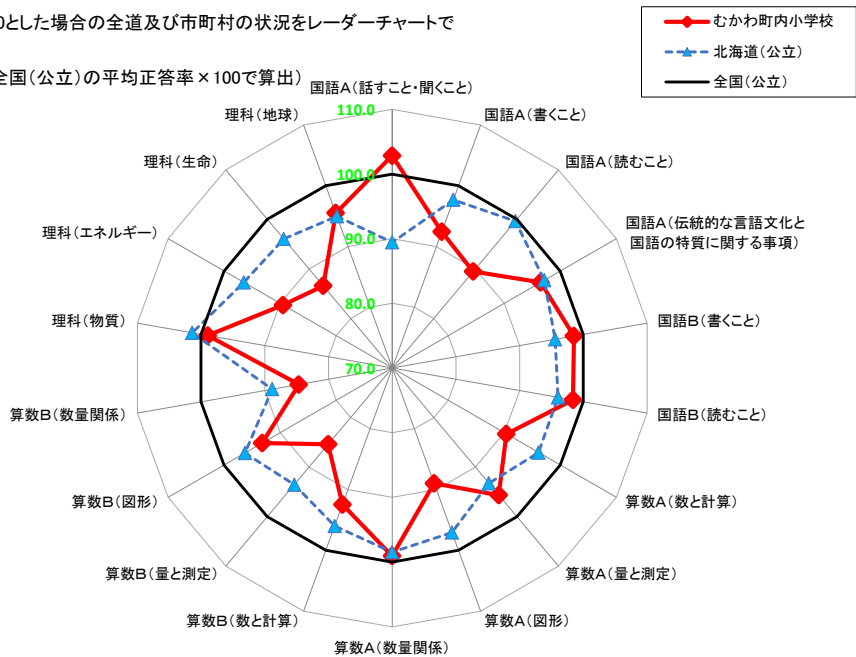


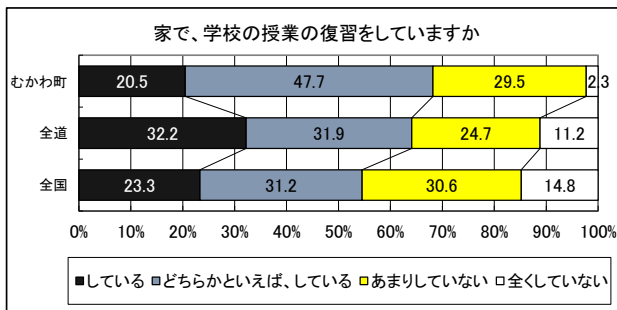
■むかわ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:44名)

【教科全体の状況】

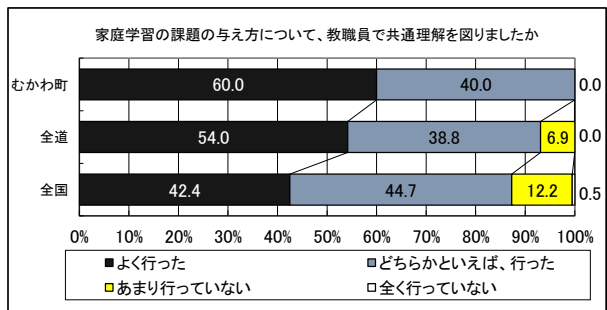
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において全国及び全道の平均正答率を下回っているが、一部領域では、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Bでは全ての領域で、算数Aでは「量と測定」、「数量関係」、理科では「地球」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、教職員で共通理解を図って家庭学習に取り組ませ、習慣化を図ることによって家で復習する児童が増え、学習習慣の確立につながっていると考えられる。 ○ 標準学力検査を実施し、児童の学習状況を把握するとともに、町独自の学習支援員や補助教員を配置し、きめ細かな指導に努めたことにより、領域によっては全道、全国の平均正答率を上回る結果につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で学校の復習を「している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合を合わせると、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図っていると回答している。 	

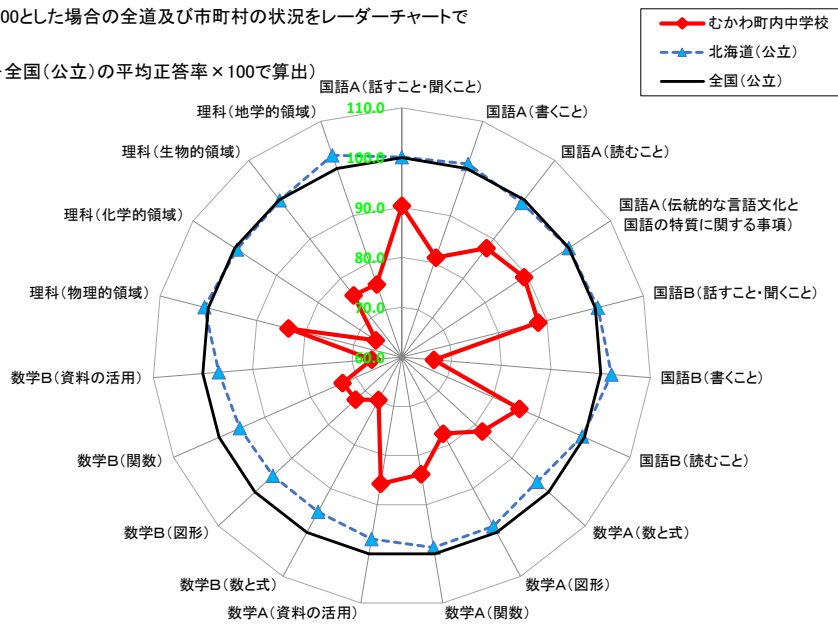
【むかわ町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員、補助教員の配置
- ◎ 標準学力検査(CRT)の実施と分析による指導方法の改善
- ◎ 通学合宿等を実施し、学習意欲の向上と理解力を高める学びの環境整備
- ◎ 「家庭学習のてびき」の作成及び配布や全児童生徒の保護者を対象とした「生活実態アンケート調査」を行い、家庭での生活習慣・学習習慣の重要性を周知するなど、家庭と連携した家庭学習の充実

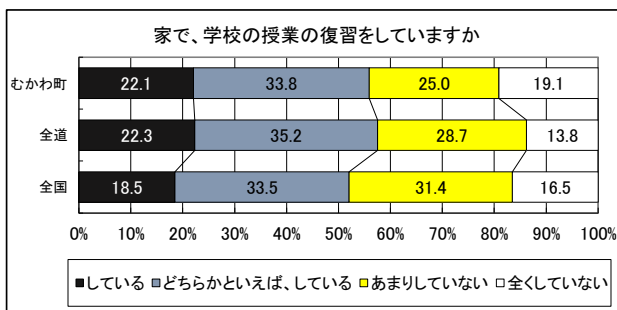
■むかわ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:67名)

【教科全体の状況】

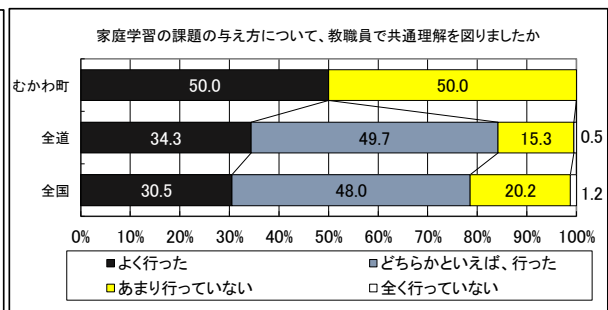
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての領域で全道を下回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で、全道との差が縮まってきている。 ○ 理科では、「物理的領域」で、全道との差が縮まってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準学力検査を実施し、生徒の学習状況を把握するとともに、町独自の補助教員を配置し、きめ細かな指導に努めたことにより、領域によっては、少しずつではあるが全道の平均正答率に近付いてきていると考えられる。 ○ 各学校で、共通理解を図って家庭学習に取り組みせ、習慣化を図っており、学習習慣の確立につながっていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で学校の復習を「している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2校中1校の学校で、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図っていると回答している。 	

【むかわ町の学力向上策】

- ◎ 中高一貫教育を活用したキャリア教育の充実(早い段階での職業選択に向けた具体的な取組の実施)
- ◎ 標準学力検査(CRT)の実施と分析による指導方法の改善
- ◎ 生徒一人一人の能力理解度に合わせた習熟度別学習の実施
- ◎ 「家庭学習のてびき」の作成及び配布や全児童生徒の保護者を対象とした「生活実態アンケート調査」を行い、家庭での生活習慣・学習習慣の重要性を周知するなど、家庭と連携した家庭学習の充実